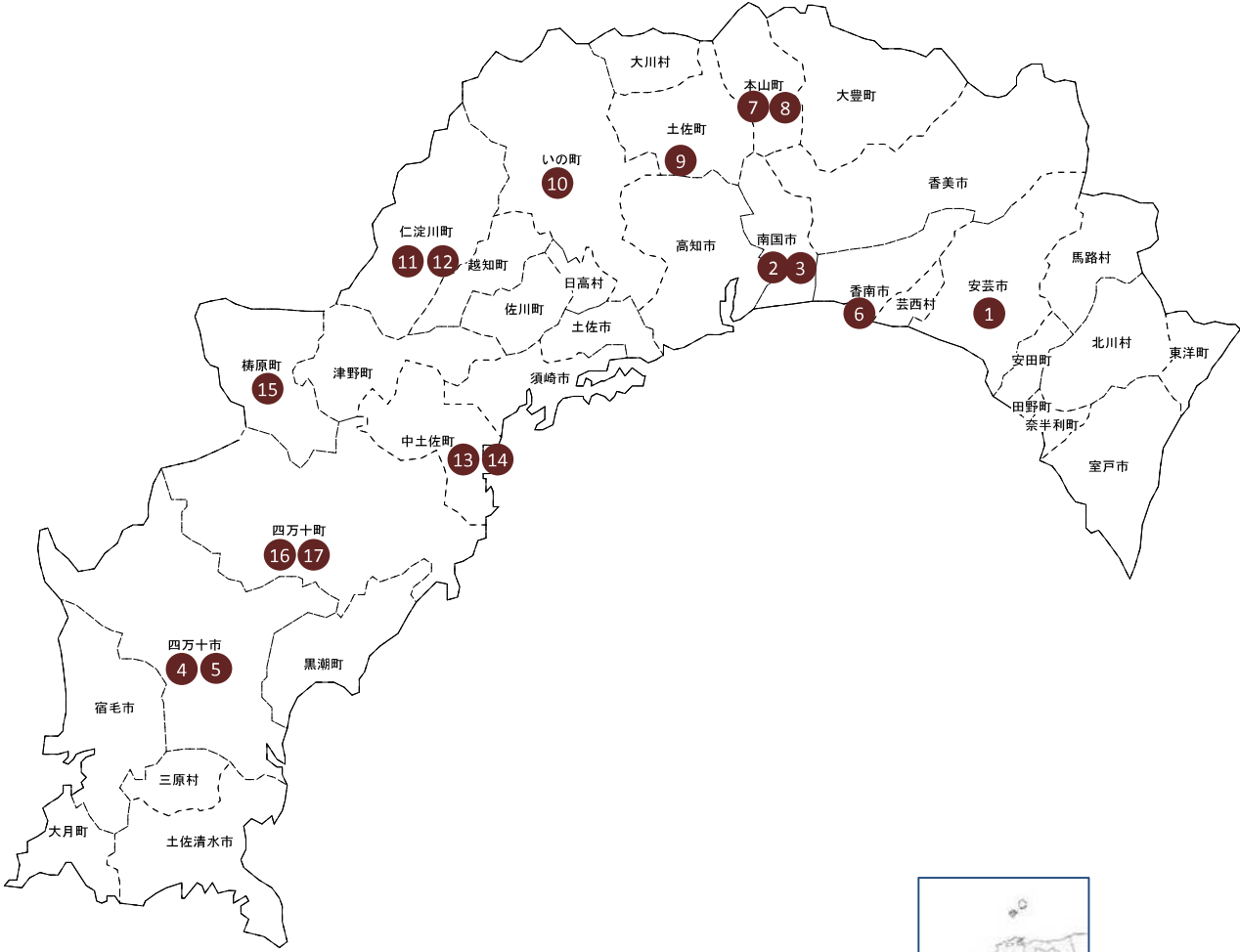


# 応募団体位置図（高知県）



1

あきし  
高知県安芸市

伝統の継承

高齢者の  
活躍その他  
(地域おこし)

にゅうがうちだいこんのこそうかい

## 入河内大根のこそう会

～「入河内大根」で地域おこし～



学生の収穫体験



入河内大根を使った料理

## 経緯

- 入河内地区だけで栽培されてきた伝統野菜であった入河内大根が、他の大根と交雑して失われる危機に直面。
- 平成18年、地域の農家を中心に入河内大根の栽培を通じた地域活性化のため、「入河内大根のこそう会」を結成。

## 取組内容

- 共同圃場(2a)を設け会員が共同で栽培。収穫体験や調理の体験交流など、まちとむらの交流を促進。
- 野菜ソムリエ等を通じて、県内有名ホテル、レストラン、料亭等に提供。
- 地元の指定管理者の温泉施設と連携し、「入河内大根」をメニュー化。
- 量販店や市場を通じた販路の拡大。

## 活動の効果

- 入河内大根を使った料理がメニュー化され、高知県を代表する伝統野菜としても知名度が向上し、地域住民の意識も変わり、入河内大根が地域の代表作物であると誇りを持つようになった。また、入河内大根が地域内外とのコミュニケーションの媒介として大きな役目を果たしている。
- 地区住民に種を無料配布し、栽培人口が17人から20人に増加(H25→R元)。栽培面積も休耕田を活用し、30aから50aに増加(H25→R元)。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

入河内大根の伝承のため、栽培や調理方法の研究、レシピの配布などに取り組んでいます。

高知県安芸市入河内588(東川公民館内) Tel:0887-32-3031

しらかだにゆめふあくとりー

## 白木谷ゆめファクトリー

～山々の谷間谷間に夢がある(四方竹仙人)～



竹林整備の共同作業・竹の有効活用



たけのこ・四方竹の共同加工場完成

## 経緯

- 少子高齢化に伴う景観の荒廃、放任竹林の増加防止を目的に、平成23年に「白木谷ゆめクラブ」が発足。
- 平成29年に共同加工場が整備されたことを機に、組織名を「白木谷ゆめファクトリー」に改名。

## 取組内容

- 竹林の管理受委託により放任竹林を整備し、放置竹林の解消を図る。
- 竹林整備で伐採された竹はチップ化、パウダー化し、孟宗竹・四方竹圃場へ還元。
- 収穫されたたけのこは、ボイルや寿司、乾燥たけのこなどで直販所を中心に販売。
- たけのこ掘り体験を通じて市内外と交流。

## 活動の効果

- 放任竹林整備作業による景観荒廃の解消。伐採により生じた竹の有効活用の体制が構築された。
- 地域農産物の加工品開発により、農閑期にも収益が得られるようになり、地域の所得向上に繋がった。
- 商品の県外への販路を拡大したことで、白木谷集落の認知度がアップし、地域の活性化にも寄与している。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

竹林整備や農産物の生産・加工・販売の体制を強化し、非農家も含めた集落全体での活性化を目指します。また、「たけのこ掘り体験」「たけのこ料理づくり体験」を展開し、集落のファンを増やしていきます。

のうかれすとらんまほろばたけ

## 農家レストラン「まほろば畑」

～南国の美味しい野菜いっぱい農家レストラン～



農家レストランのオープン時の様子



農家レストランのバイキング料理盛付け例

### 経緯

- 農山村女性グループの交流を図り、地域の豊富な食材を生かした料理を提供する活動ができないか検討。
- 付加価値の高い地域特産品や郷土料理の研究・開発、地域の野菜とふるさとの味を広く宣伝することを目的に、「農家レストランまほろば畑」を設立。

### 取組内容

- 「道の駅南国風良里」の2階カフェレスト定休日の火曜日を利用し、まほろば畑の女性グループが工夫料理や郷土料理などをバイキング形式で提供。
- 料理レシピ集を過去2回作成。営業日にはおすすめレシピを配布。
- 地元2高校と連携し「高校生レストラン」「コラボレストラン」を開催。

### 活動の効果

- 令和元年には年間5,600人ほどの来店者があり、6月には6万人を達成。南国市産野菜の認知度アップと消費拡大により、地域の活性化にも寄与。
- 地元小学生のバイキング体験、また高校生レストランを開催し、若い世代と食を通じて連携を深め、郷土料理の伝承と地産地消の推進につながっている。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

昔なつかしい味、ほっと安らげるおもてなしを皆様にご提供いたします。あったかほんわか農家レストラン「まほろば畑」で皆様のご来店をお待ちしています。

高知県南国市大桶甲2301(南国市農林水産課) Tel:088-880-6559

4

しまんとし  
高知県四万十市

伝統の承継

6次産業化

学生・若者の  
活躍はやし たいすけ  
林 大介

～四万十川天然鮎を世界一に！～



ワインに合う鮎のコンフィ商品



鮎の塩焼きコンテスト世界一決定戦

## 経緯

- 四万十川西部漁協鮎市場に市場長として30年勤務したことにより、地域の漁師、川の状況、鮎の生態を深く知った。
- 道の駅駅長に就任したことを機会に鮎市場と道の駅を連携させ、天然鮎の価値を取り戻す活動を2016年より開始。

## 取組内容

- 日本一を目指す！生きた鮎を築地のセリへ【四万十川天然鮎・活魚のプロジェクト】
- 日本の田舎と世界の田舎の融合。【ワインにあう鮎のコンフィの開発】 鮎のコンフィの製造は、地域おこし協力隊を勤め上げ2016年から西土佐地区に移住した青年が行っている。
- 世界的に盛り上がりを見せるスポーツッキング「SCA」。その世界共通ルールで鮎の塩焼きコンテストを開催。

## 活動の効果

- 活動を通じた若者たちが、四万十川の環境・経済を次世代に繋ぐため、鮎の価値の向上へのチャレンジが増加してきた。
- コンフィの開発に携わったターンの若者による、四万十食材を楽しむ飲食店の開店があり、地域活性化に繋がっている。
- 活動の中から地元の若者による「あみ部」が発足し、ベテラン漁師と若者の交流と伝統文化継承に繋がっている。

## 応募者からのアピール・メッセージ

これまでの職歴や実績を超えて、地域の扇の要のように老若男女をつなぎ、交わりをつくる重要な役割を率先して果たされています。背伸びをせず「身の丈」を確認しながら、新しい仲間を受け入れ、新しいことへのチャレンジと地域の理解にじっくり取り組む姿勢といつも明るいその人柄が「地域のたのしい集まり」をつくっています。

高知県四万十市西土佐江川崎4210-3 Tel:0880-52-1398

5

しまんとし  
高知県四万十市

雇用

6次産業化

みちのえきよってにしとさ(かぶしきがいしゃ にしとさふるさといち)  
道の駅よって西土佐(株式会社 西土佐ふるさと市)

～住民がよってたかつて道の駅よって西土佐～



日本で唯一鮎市場のある道の駅



ワークショップにより開発された商品

## 経緯

- 最後の清流と呼ばれる四万十川。そこで取れる天然鮎は、美しい四万十の自然の象徴。
- しかし、漁師の減少、鮎の減少等、四万十川・天然鮎を取り巻く課題は年々深刻化。
- 環境と経済の両面から天然鮎と四万十川の価値を更に高めることで未来の世代に繋げる活動を2016年から開始。

## 取組内容

- 新たな名物として、地域の食文化を尊重しつつ「洋」を取り入れた、四万十天然鮎を使った「鮎のコンフィ」を開発。
- 生きた鮎を築地市場へ運ぶための品質管理、流通技術・管理を開発。現在天然活魚を豊洲市場に送っているのは四万十川のみ。
- 上流から下流まで「全漁協による四万十鮎ブランドプロジェクトチーム」発足。

## 活動の効果

- 活動を通じて鮎の価値を再認識。事業体を超えて関係者が一丸となり、鮎以外の地場産品の価値を再発見する取組に進展。
- 天然うなぎでワインを楽しむイタリアのコマッキオとフレンドシップ提携を締結。また、鮎のコンフィに合うワインの産地であるフランスにもアプローチする中で、四万十川の価値復活に賛同してくれる外部の仲間と、川の価値、鮎の価値の向上、若手の未来開拓に挑戦する流れが生み出されている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

あゆ市場や道の駅という地域の価値を発信する立場で、長年にわたり、住んでいる人たちの価値観を正直に誠実に身の丈で表現し、住民と密に接し納得を取り付けてから新しいコトに取り組む姿勢にいつも感銘を受けています。

高知県四万十市西土佐江川崎2410-3 Tel:0880-52-1398

## 西佐古みどりの会

～地域住民が一体となった農村環境づくり～



遊休農地発生防止のための保全活動



咲き誇るアジサイ

## 経緯

- 平成21年6月に地元自治会を中心として「西佐古みどりの会」を設立し、農村環境保全の一環として景観形成・生活環境保全活動の取り組みを開始。
- 農業者・地域住民・団体が一体となった体制をつくり、農地維持・地域資源の向上に取り組む。

## 取組内容

- 農業者・地域住民・団体が一緒となった体制をつくり、水路の草刈り等の農地維持・地域資源の向上に取り組んできた。
- 毎年3回(5月・7月・10月)、自治会が中心となり、地域住民と連携したアジサイの植栽・剪定・草刈り・清掃等、きめ細やかな活動で景観形成に貢献。

## 活動の効果

- 地元の農業者だけでなく土地持ち非農家や地区の団体と協力して農道・水路の草刈り等の維持管理を行うことで地域の団結力が深まる。
- 農村環境保全活動によるアジサイの植栽活動により地域住民との交流も図られるなど、高齢化で厳しい状況の集落に明るい希望を与えた。
- アジサイの植栽が地域の観光スポットになるなど地域内外の住民の交流の場が広がり、地域の活性化に繋がっている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

開花中の6月には、毎年TV局が取材に訪れており、1.2kmに及ぶ約19,000株のアジサイを、地元だけでなく県内外から多くの愛好者が観賞に訪れます。家族連れや友人の方と一度のんびり歩いてみませんか？

あせみかわかせいかすいしんいんかい

## 汗見川活性化推進委員会

～集落拠点を中心に、住みたい「汗見川」の取組！～



平成20年5月から旧小学校を宿泊施設として運営



地元製造会社と協同の商品

## 経緯

- 昭和47年に、地域を流れる川「汗見川を美しくする会」を結成し、次世代につなぐ景観づくり、人づくりを開始。
- 平成13年より、過疎・高齢化や鳥獣被害が進む中、地域住民が地域の継続と活性化を目指した交流事業や景観活動を開始。

## 取組内容

- 植栽伐採による河川沿いの景観整備やツツジツアー、地域運動会などを実施。
- 廃校活用の体験宿泊施設「汗見川ふれあいの郷清流館」でのソバ打ち、ピザ焼きなどの農林業体験、都市農村交流、景観づくり活動などを実施。
- 地域のシソ(全量買取)を活用したアイス、ドリンクの商品化。

## 活動の効果

- 地域挙げての活動内容は、多くのテレビ取材などで情報発信され、視察も年間30団体を超えるなど地域では大きな波及効果を生んでいる。
- 宿泊事業と特産品事業のシソ加工品での収益向上を目指す取組みを展開、事業推進員を増員し新たな挑戦が始まっている。
- 飲み会の場づくりや共同作業などを通じて、移住者の地域活動への参加がスムーズにでき、U・Iターンをする人や増加、高齢化率の低下に結びついている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

過疎、高齢化が進む中、「できる人ができる時に元気な内に何かやっといこう」との声で、活動を前に進めるきっかけになりました。

住民が主体的に拠点事業に取り組むことにより地域人材の育成、地域の支え合いや魅力ある地域を継続する事で、新たな人材の受入に結びつけると共に、住民の生きがいづくりの推進を目指します。地域ファンクラブ「ちっといぜよ汗見川」会員募集中！

高知県長岡郡本山町沢ヶ内626番地 Tel:0887-82-1231



よしのぶえいのうくみあい

## 吉延営農組合

～吉延の自然・棚田の原風景を将来へ～



吉延集落の棚田



田んぼアート田植え作業の様子

## 経緯

- 平成12年に中山間地域等直接支払制度の参加をきっかけに、地域の農地を地域で守っていくという意識が醸成。
- 共同で農道の舗装や機械の購入・利用を進め農村環境の保全や持続可能な営農体制の確立を図り、平成19年1月に吉延営農組合を設立。

## 取組内容

- イノシシの水稲被害が増加。国からの交付金を活用し、防護柵を設置。
- 営農組合の共同機械の整備や集落内へのライスセンターの設置など稲作の協業化と農作業受託。
- 高知大学や各関係機関と連携し、田んぼアート、棚田コンサートや棚田散策ツアーを実施。

## 活動の効果

- 共同機械の整備や農作業受託、鳥獣被害防止対策、高齢農家も中山間地域等直接支払制度に参加しやすい体制作りなど、持続可能な営農に繋がっている。
- 地域資源である棚田を活かしたイベントの実施や棚田を見渡せる展望台と駐車場の整備、県内外からも人が訪れるようになった。
- 加工品開発、地域の伝統行事も当組織が中心を担うなど、地域活性化を目指した発展的な活動にも広がりができ、他地域のモデル的な組織となっている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

農地の保全活動にとどまらず、地域活性化を目指した発展的な活動にも広がりをみせ、集落になくってはならない組織となっています。組織の体制強化や人材確保に努め、農村環境の維持・発展を目指します。

高知県長岡郡本山町本山504 Tel:0887-76-3916